



武藏 重幸 議員

問 自宅介護の中には老老介護のため、車に乗せることが困難な家庭もある。格安の介護タクシーがあれば、通院治療が出来るので、町で介護用車両を購入して運行会社に委託運営で高齢介護者の利便性に寄与することが必要ではないか。

答 本町での介護タクシーの利用状況は少ない。料金は通常タクシー運賃より割高となっているので、今後、介護タクシーの利用についてしっかり調査をし、助成の方法を検討する。町では移送用車両を購入し運行を委託することは考えていない。

問 業者で車を購入する場合、町からの補助率は何割程度か。

答 補助率は決めてないが、運行会社と相談をしながら今までの例を参考にして判断します。

問 農産物生産者への継続支援は

答 感染症などの状況により判断したい

問 新型コロナウイルスによる農産物の売り上げ低下を補うための売り上げ手数料の全額補助は、生産者の生産意欲向上につながったと思われ、補助終了後も販売手数料の半額を支援できないか。

答 農林産物生産者などの減収支援と出荷促進のため、6月から10月までの期間に限定して支援をしているが、11月以降については、感染症の状況や地域経済の状況により判断をしていく。

問 パイプハウスリース事業で、既定の売上額に達しなかった利用者には反則金を課すべきではないか。

答 町としては農業普及指導員を招いた野菜造り研修会やパイプハウスの巡回指導を行い、出荷量及び販売額の向上のため、栽培技術の指導を行っている。既定の販売額に達しない利用者については、徹底した生産指導をする。

問 峠田以西では積雪多量のため利用者が少ないので容易にビニールの脱着ができるパイプハウスリース事業を再開できないか。

答 目標とした30棟のリース事業を完了したので、新たな施設園芸のあり方について検討する。

問 介護タクシーの必要性は

答 需要等を調査して助成の方法を検討する

問 造成工事の施工管理体制と工期は

答 県仕様書で管理し、3ヶ月で完了予定

問 木材チップ生産施設造成工事について盛り土工事の工期が3カ月で大丈夫なのか。

答 9月中旬に造成工事の発注をし、3カ月程度で盛り土を完了し、建築工事に着手する。

問 盛り土量が1万5千立方メートルと大量になるが数量的に間に合うのか。

答 町の保有する残土とは別に県の河川工事の残土6千立方メートルを県の負担で運搬してもらう予定。

問 施工業者に県の共通仕様書に基づく品質管理を徹底させるべきではないか。

答 盛り土の品質管理は1層の仕上がり厚さが30センチ以下で平坦に締め固め、県仕様書による密度試験で成果等を確認し、現場写真でも確認する。

問 今回の造成工事は都市計画法の開発行為には該当しないのか。

答 今回開発する蒲の木地区は農業振興地域に指定されているので8月に解除した。本町では都市計画法の定めはなく1万平方メートル以内なので該当しない。

問 造成工事の土留め擁壁工の設計で直高2m以上は建築確認が必要ではないか。

答 コンサルタントに設計委託をして実施しているので、法的なクリアは当然であり、必要ならば県土木と打ち合わせ、後で問題の起きないよう工事を進める。



渡部 英幸 議員



▲土取場スキー場第3駐車場



▲蒲木造成工事現場